

# インディードゥアイガン ยินดีดอัยกัน

...so that may be glad together. (John ヨハネ 4:36)

YDは、タイ語で「ともに喜びのため」を意味する単語の頭文字です

タイ王国チェンマイ日本語キリスト教会を通してのタイ宣教

YD ミニストリー ニュースレター # 8

2019年 春号



.....それは祝福の雨となる。

エゼキエル書 34:26

宣教の主にあって、お祈りとご支援を心より感謝いたします。タイは最も暑い季節を迎えています。乾季にもあたるこの時期のチェンマイは、例年、深刻な煙害(ヘイズ)に見舞われます。自家用車の増加による排気ガスも要因の一つですが、主因は焼き畑、山焼きです。山に囲まれた盆地であるチェンマイは、雨もなく風も吹かないこの時期、呼吸を躊躇するほど空気がよどみ、ひどい日には山の影さえスモッグに消えます。いつもはおおらかなチェンマイの人々も、さすがに健康被害が出るため、マスク姿が目立つようになります。

そのような息苦しさを打ち破るように行われるのが、タイの新年「ソングラーン」の水かけ祭りです。氷水や衛生的に課題のある水を延々とかけ合うため、眼病や風邪など、体調を崩す方が続出します。飲酒運転による事故も多いと聞いていたので、体調管理と安全を考慮し、昨年は、礼拝以外は外出せずにおりました。自転車やバイクで礼拝に集っている方々も、途中でずぶ濡れになってしまい、引き返さざるを得なくなってしまうと聞いていたので、今年は車で送迎し、無事にみな集うことができました。

今年は私も語学学校の課外授業に参加し、本来の水かけを体験しました。仏教国であるため、寺院でも様々な行事が行われますが、仏教の祭日ではなく、年配者に敬意を示す家族や地域の行事です。目下の者が年配者の手に敬意を表して水を注ぎ、年配者は注いだ人々の祝福を願って、その水を注ぎ返します。

また、思いがけず、地元の人々の水かけ祭りの雰囲気も体感することになりました。第二礼拝からのいつもの帰路、歴史ある旧道が大渋滞。ピックアップトラックの荷台に氷水の詰まったドラム缶をセットし、街道沿いから、車上から、バイクにも人にも車にも、容赦なく大量の水がかけられます。印象的だったのは、かけられた者が感謝の挨拶を返す姿でした。水の冷たさに震えている人もいましたが、40℃の猛暑の中で注がれる水は、本来的に相手への祝福を願うものなのです。普段は30分の帰途が2時間かかりましたが、埃っぽかった車体がどれほどキレイになったかと楽しみに。残念ながら、清涼剤入りのベビー・パウダーを混ぜた水だったので、白い細かな水玉模様の車になっていました。季節に適った、主よりの祝福の雨が待ち遠しいチェンマイです。



老人施設内の小さなチャペルをお借りしての第二礼拝



課外授業でのタイ・サラダ作り



街道での地元の方々の水かけ祭りの様子

## < 祈禱課題 >

- ・3月から第二礼拝が必要となっている高齢者とともに礼拝できる階段のない会堂が与えられ、再び一つの礼拝となれるように
- ・タイ人と結婚された日本人女性たちが加えられています。子どもたちへの適切な福音伝達と、ご主人へのタイ語でのアプローチができるように
- ・チェンマイでの牧会と宣教を継続するための力と必要が備えられるように

## < 支援窓口 >

YD ミニストリー支援会 郵便振替 00870-6-154230  
支援会お問合せ先 [shimoyamada@nishimagrace.com](mailto:shimoyamada@nishimagrace.com)  
電話 Fax 055-989-7802

ホームページ <http://www.yd-ministry.christian.jp/>

(「YD ミニストリー」で ご検索いただいても ご覧いただけます)  
日本同盟基督教団事務所 郵便振替 00120-5-142886  
(事務所宛は、長谷部愛実への指定献金のみ、ミニストリーに献げられます)